


小規模版モデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)による計算結果

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称	A事務所新築工事		
(2) 床面積	252.00m ²	XML ID/再出力コード	
		c2659964-8726-4098	
(3) モデル建物	事務所モデル	Z#UO-*PVH-UNAJ-GTCA	
(4) 評価結果			
一次エネルギー消費量 【BEIs】		0.75	
空気調和設備 【BEIs/AC】		0.80	
機械換気設備 【BEIs/V】		2.30	
照明設備 【BEIs/L】		0.51	
給湯設備 【BEIs/HW】		2.04	
(6) 判定	BEIs ≤ 1.00		達成

2. 当該建築物の仕様

(0) 基本情報

0a	物件名称	A事務所新築工事
0b	計算対象床面積	252m ²
0c	地域の区分	6地域 168+84
0d	適用するモデル建物	事務所モデル
0e	計算対象設備の有無 空調	有
0e	計算対象設備の有無 換気	有
0e	計算対象設備の有無 照明	有
0e	計算対象設備の有無 給湯	有
0f	建物所在地（都道府県）	東京都
0g	建物所在地（市町村以下）	中央区
0h	入力責任者	設計 太郎

(1) 外皮の仕様

1a	外皮（外壁・屋根・窓）の有無 外壁	有
1a	外皮（外壁・屋根・窓）の有無 屋根	有
1a	外皮（外壁・屋根・窓）の有無 窓	有
1b	外皮（外壁）の断熱仕様の入力方法	断熱材の種類と厚さを入力する
1c	外皮（屋根）の断熱仕様の入力方法	断熱材の種類と厚さを入力する
1d	外壁の断熱材の種類	グラスウール断熱材高性能品
1e	外壁の断熱材の厚さ	95mm
1f	屋根の断熱材の種類	押出法ポリスチレンフォーム断熱材
1g	屋根の断熱材の厚さ	100mm
1h	外壁の熱貫流率	-
1i	屋根の熱貫流率	-
1j	窓仕様の入力方法	建具とガラスの種類を入力する
1k	窓の熱貫流率	-
1l	窓の日射熱取得率	-
1m	建具の種類	金属製
1n	ガラスの種類	二層複層ガラス（Low-Eあり、日射取得型）
1o	ブラインドの有無	無
1p	庇の有無	無

(2) 空調設備の仕様

2a	主たる冷熱源の種類	パッケージエアコンディショナ(空冷式)
2b	熱源容量(冷房) 入力の有無	入力する
2c	定格能力(冷房)	14kW
2d	定格消費電力	4.5kW
2e	定格燃料消費量	-
2f	冷房対象面積	116.4m ²
2g	主たる暖房熱源の種類	パッケージエアコンディショナ(空冷式)
2h	熱源容量(暖房) 入力の有無	入力する
2i	定格能力(暖房)	16kW
2j	定格消費電力	3.91kW
2k	定格燃料消費量	-
2l	暖房対象面積	116.4m ²
2m	全熱交換器の有無	無
2n	全熱交換器の熱交換効率の入力の有無	-
2o	全熱交換器の平均熱交換効率	-

室内機の消費電力の合計 $0.028\text{kW} \times 10\text{台} = 0.28\text{kW}$
定格消費電力 室外機4.22kW+室内機0.28kW=4.5kW

68.4+48

室内機の消費電力の合計 $0.024\text{kW} \times 10\text{台} = 0.24\text{kW}$
定格消費電力 室外機3.67kW+室内機0.24kW=3.91kW

(3) 照明設備の仕様

3a	照明器具の消費電力合計の入力の有無	入力する
3b	主たる照明器具の種類	-
3c	照明器具の消費電力の合計	473.4W
3d	照明対象面積	68.4m ²
3e	明るさ検知制御の有無	無

26.3W × 18台

(4) 機械換気設備(便所)の仕様

4a	換気設備の有無、及び換気設備「有」の場合のエネルギー効率の入力の有無	対象設備有り：入力しない(規定値で計算)
4b	換気設備の機械換気量	-
4c	換気設備の消費電力	-

(4) 機械換気設備(厨房)の仕様

4a	換気設備の有無、及び換気設備「有」の場合のエネルギー効率の入力の有無	対象設備無し
4b	換気設備の機械換気量	-
4c	換気設備の消費電力	-
4e	計算対象床面積	-

給湯室は入力対象外

(5) 給湯設備の仕様

5a	熱源効率の入力方法	入力しない(規定値で計算)
5b	主たる給湯設備の種類	電気温水器
5c	定格加熱能力	-
5d	定格消費電力	-
5e	定格燃料消費量	-
5f	配管保温仕様	保温仕様2又は3
5g	節湯器具	無

3. 通知

通知メッセージ
